

平成 16 年 10 月 22 日

## 国際学術コミュニケーション委員会 GIF プロジェクト活動報告

### 1 GIF プロジェクト会議等開催状況

- ・日米両国におけるプロジェクトへの参加状況、日韓 ILL/DD プロジェクト合同会議などについて電子メール等による協議及び意見交換を実施した。
- ・平成 16 年 7 月 28 日開催の平成 16 年度第 1 回国際学術コミュニケーション委員会において、日韓 ILL/DD の運用テストの実施、運用テストの評価及び暫定運用について協議を行うための合同会議の出席について協議した。

### 2 活動概要

#### (1) 日米 ILL/DD プロジェクト

##### GIF プロジェクト参加状況

参加機関数は平成 16 年 9 月 13 日現在で日本側 91 機関、100 図書館（内訳：国立大学 56 機関 65 図書館、公立大学 2 機関 2 図書館、私立大学 30 機関 30 図書館、大学共同利用機関 3 機関 3 図書館）、北米側 37 機関、40 図書館であり、平成 16 年 4 月以降日本側 6 機関 7 図書館、北米側 3 機関 3 図書館の増加となっている。

##### 現物貸借サービス参加状況

平成 15 年 8 月 1 日から開始した現物貸借サービスの参加状況は、平成 16 年 9 月 13 日現在で、日本側 42 機関、43 図書館（内訳：国立大学 32 機関 33 図書館、私立大学 8 機関 8 図書館、公立大学 1 機関 1 図書館、大学共同利用機関 1 機関 1 図書館）、北米側 21 機関 21 図書館であり、平成 16 年 4 月以降日本側 6 機関 6 図書館、北米側 3 機関 3 図書館の増加となっている。

#### (2) 日韓 ILL/DD プロジェクト

##### 韓国教育学術情報院（Korea Education & Research Information Service : KERIS）との協議

国大図協理事会において、日韓 ILL/DD プロジェクトの実施案が了承されたことを受けて、運用テスト及び懸案事項となっていた料金決済について引き続き KERIS と協議を行った。料金決済については、NII との調整の上、日本側から NII の文献複写料金相殺サービスを採用することを提案し、韓国側の了解も得られたことから、参加のための手続きに入った。

運用テストについては、平成 16 年 8 月 2 日から 20 日の予定で、日本側 4 大学図書館、韓国側 5 大学図書館の間で実施することを決定した。

##### 運用テスト

8 月 2 日から、日本側東京大学、三重大学、京都大学、九州大学の各図書館と韓国側

ソウル国立大学、延世大学、梨花女子大学、西江大学、浦項工科大学との間で運用テストを行った。テストは、結局 9 月初頭まで継続され、日本側から 26 件（確認 17 件、キャンセル 9 件）、韓国側から 23 件（確認 16 件、キャンセル 7 件）が依頼された。

テストの評価、問題点の改善及びテスト終了後に予定されている暫定サービスについては、9 月 16 日にソウルでの KERIS との合同会議において協議した。

#### 日韓 ILL/DD プロジェクト合同会議

平成 16 年 9 月 16 日に KERIS において標記会議が開催された。日本側から N I I の宮澤彰教授、荻原寛コンテンツ課担当、国大図協関連で九州大学附属図書館副館長荒木啓二郎教授、甲斐重武情報サービス課長、GIF プロジェクトの早瀬均東京学芸大学学術情報部長、井上修三重大学図書・情報部情報サービス課長、栃谷泰文旭川医科大学図書館情報課長、韓国側から KERIS の担当者である Park Hong-Seok 氏、Park Yoon Jung 氏、Kim Chandie 氏、Kwon Ji-yoen 氏らが出席した。

#### 運用テストについて

日韓双方からテストの結果と問題点を提示した。（別紙「日韓 ILL/DD プロジェクト運用テスト報告」参照）システム面での課題については、引き続き NII と KERIS の間で改善に向けた作業を行うこととし、その他の問題については、当面何らかの対応が可能であり、暫定サービスの開始の障害にはならないことを確認した。

#### 暫定サービスについて

これまで、合意されていた事項も含め、暫定サービスを実施するために必要な事項について協議を行った。懸案となっていた料金決済については、NII の文献複写料金相殺サービスを採用することを最終的に確認した。さらに、以下の事項について双方で作業を進めることとして、暫定サービスの開始を平成 16 年 11 月 22 日とすることが合意された。

#### 【韓国側】

- ・所蔵確認を効率的に行うためのデータベースの整備について改善を進める。
- ・ILL システムリンクについて NII と連携して実現を図る。

#### 【日本側】

- ・KERIS と連携して目録検索のパフォーマンス向上を図る。
- ・できるだけ多くの参加館を募る。

### ( 3 ) 国公立大学図書館協力委員会シンポジウムへの参加

平成 16 年 9 月 3 日に国公立大学図書館協力委員会主催で開催された「日本のユーティリティと GIF の展開と課題」で、「GIF の現状と今後」と題し、GIF プロジェクトメンバーである井上修三重大学図書・情報部情報サービス課長が、日米間の ILL/DD は順調に拡大しているが、キャンセル率の高いことが大きな問題であること、及び日韓 ILL/DD の進捗状況等について報告した。

なお、このシンポジウムには、マサチューセッツ大学の ILL 担当者による北米の ILL 状況について講演、報告があり、担当者ならではの裏話も聞くことができた。また、日米双方における ILL 担当者の研修の重要性について認識を共有した。

( 5 ) GIF ホームページのリニューアル

日韓 ILL/DD プロジェクトが開始されたこと等を受けて、ホームページの変更をおこなった。

3 今後の課題

( 1 ) 日韓 ILL/DD プロジェクトの実施

( 2 ) 日米 ILL/DD の改善と国際 ILL 担当者のスキルアップ方策

( 3 ) 北米以外の国々との国際 ILL の展開

平成 16 年 10 月 22 日

## 日韓 ILL/DD プロジェクト運用テスト報告

### 【日本側報告】

#### 1. テスト期間

2004 年 8 月 2 日から 9 月 10 日まで

#### 2. 参加館

##### (1) 韓国側 KERIS+KERIS エージェント

延世大学図書館

浦項工科大学 (POSTECH) 図書館

ソウル国立大学図書館

西江大学図書館

梨花女子大学図書館

##### (2) 日本側

九州大学附属図書館

京都大学附属図書館

東京大学附属図書館

三重大学附属図書館

#### 3. 概要

(1) 各館とも少なくとも 3 件の文献複写依頼を行う。

(2) 受付館は、通常業務として依頼を受け、依頼された複写物を依頼館に送付する。

(3) テスト館のペアは以下のとおり。

a. 延世大学図書館・浦項工科大学図書館 - 九州大学附属図書館

b. ソウル国立大学図書館 - 京都大学附属図書館

c. 西江大学図書館 - 東京大学附属図書館

d. 梨花女子大学図書館 - 三重大学附属図書館

#### 4. テスト結果

依頼館	受付館	確認	確認処理中	発送	処理中	キャンセル	合計
延世大学	九州大学				1		1
浦項工科大学		3					3
ソウル国立大学	京都大学	8					8
西江大学	東京大学	1		2		2	5
梨花女子大学	三重大学				1	5	6
							23
九州大学	延世大学	2		1			3
	浦項工科大学		1			2	3
京都大学	ソウル国立大学	7				3	10
東京大学	西江大学	4					4
三重大学	梨花女子大学	2					3
							25

#### 5. コメント

韓国側からの依頼は比較的遅く、受付処理に時間がかかったのはなぜか。単に夏季の休暇によるものか。

韓国側の所蔵確認は、N I I 検索システムに基づき正確に行われた。

全頁コピーの依頼があった。これは、日本の著作権法違反である。

日本側からの依頼について、「発送」のステータスをもつレコードの「SUM」のフィールドに値が入っていなかった。これはゼロが入ることになっている。暫定サービス及び本格運用においては、ILL 課金について、十分注意をされたい。

韓国側では KERIS-ILL システムで検索できない雑誌の依頼はできないといわれた。これは本当か。

エージェントに対して、メールを送ったが、返事がなかった。どうしてか、と思う。

日本側は、韓国の検索システムが早急に雑誌の巻号レベルの所蔵情報を提供することを期待している。

日本側受付けた ILL 依頼の処理に時間がかかったり、対応できなかつたりした場合はあったことについて、申し訳なく思っている。-

その理由は、依頼された雑誌が、

- ・ 部局図書室あるいは教員研究室にあった場合
- ・ 貸出中であった場合
- ・ 不明であった場合、である。

## 6. 提案

### (1) 依頼

- ・ 韓国側は、KERIS-ILL システムを使う際に、前置詞などのストップワードを使わないようにする。
- ・ 依頼の際に、両国はそれぞれの著作権法を遵守することとする。
- ・ 日本側は、正確に所蔵を確認するために、韓国側の各館のOPACも検索することとする。

### (2) 受付

- ・ 複写物送付の際に、依頼館が受け取った複写物を迅速に処理できるように、ILL 様式あるいはスリップを同封することとする。

## 【韓国側報告】

### 1 運用テストの概要

#### 参加図書館

#### 韓国

- ・ ソウル国立大学
- ・ 延世大学
- ・ 梨花女子大学
- ・ 浦項工科大学
- ・ 西江大学

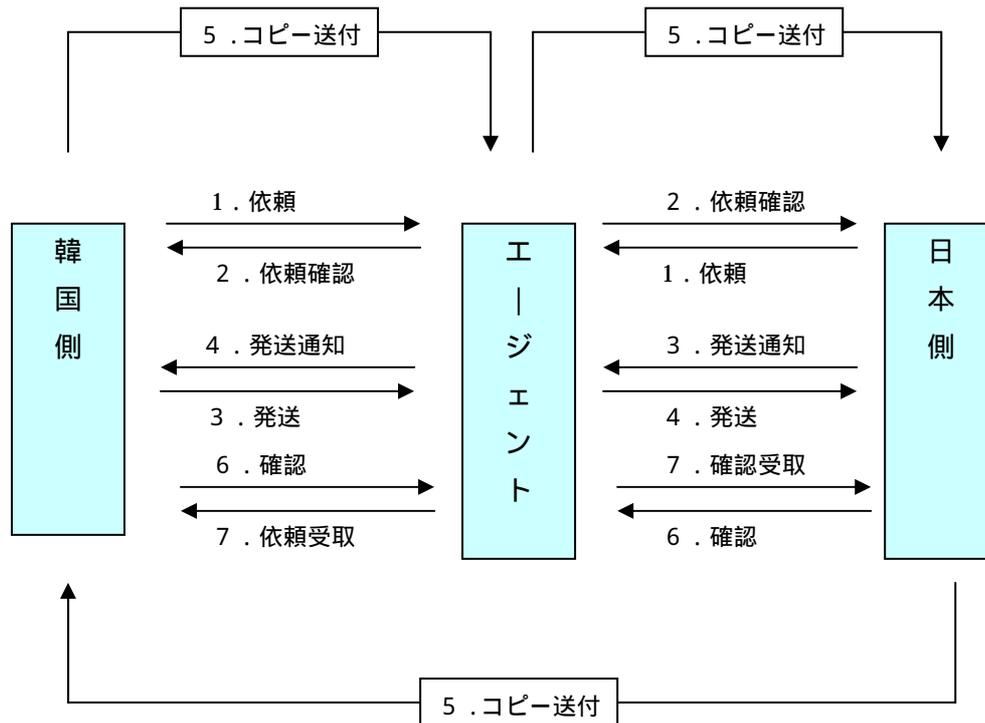
#### 日本

- ・ 京都大学
- ・ 九州大学
- ・ 三重大学
- ・ 東京大学

- 参加館の選択：ILL サービスのトップ5 大学図書館
- 方法：日韓のパートナー間で資料をやり取りする
- テスト期間：2004 年7月 9月

#### 運用テストの手順

- ILL 依頼（韓国と日本）
- 依頼の確認（エージェント）
- 複写物の送付  
韓国 => エージェント => 日本  
日本 => 韓国
- 複写物受取の確認（エージェント）
- 報告活動



2. 依頼状況

統計：日本 => 韓国

1) 処理件数：25 (6件のキャンセルを含む。)

依頼館	受付館	依頼	受付	処理中	確認	キャンセル
京都大学	ソウル国立大学	7	7	0	100	0
九州大学	延世大学	2	2	0	100	0
三重大学	梨花女子大学	2	2	0	100	0
九州大学	浦項工科大学	4	0	2	50	2
東京大学	西江大学	4	4	0	100	0
合計		19	14	2	84	2

統計：韓国 => 日本

2) 処理件数：19

依頼館	受付館	依頼	受付	処理中	確認率	キャンセル率
ソウル国立大学	京都大学	8	8	0	100	0
延世大学	九州大学	1	0	1	100	0
浦項工科大学	九州大学	3	3	0	100	0
梨花女子大学	三重大学	6	0	1	17	5

西江大学	東京大学	5	1	2	60	2
合計		23	12	4	70	7

統計：その他

1) 確認率

- 韓国から日本 84%
- 日本から韓国 70%

2) 処理時間

- 韓国から日本 18.53\*
- 日本から韓国 7.34

\*エージェントが送付した。

3) 送付方法

- すべて航空便

3. 現状の課題

検索システム

1) 検索の速度

- 検索速度を速める
- NII の Z39.50 サーバのタイムアウトを長くする

2) 検索の性能

- KERIS : KERIS 総合目録 DB
- KERIS システムを介した NII の完全検索性能

料金規則

1) 全体料金には、以下が含まれる。

- 複写、人件費、郵送料
- 基本料金：100 円/件
- 複写： 10 円/枚
- 郵送料：ページ数と送付方法による。

送付方法

1) 方法

- 郵送、EMS

## 2) 郵送料

	1-10 頁	11-50 頁	51-100 頁	101-200 頁	所要日数
航空便	300	700	900	2,500	10 日
EMS	900	1,000	2,000	3,000	3 日

### 事故処理

- 複写物がなくなった場合
- 複写物が間違って送付された場合

### その他

- 送付方法 (電子メール、Ariel)
- 暫定サービス開始時期
- サービス規則の改訂